

# NSドカモルハード

## 欠損部補修・断面修復用プレミックスモルタル (再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

NSドカモルハードは、建築・土木コンクリート構造物の断面修復材に要求される性能を追求し、接着耐久性・強度発現性に優れ、厚付け性等、抜群のこて塗り作業性を有するように設計された高強度ポリマーセメント系断面修復材です。  
かぶり厚さ確保のための補修にも適応可能です。

### 特長

- 厚さ5～60mmまでの幅広い断面修復ができます。
- こて塗り作業性に優れ、「ダレ」によるひび割れもなく、平滑な仕上がり面が得られます。
- 再乳化形粉末樹脂を適性配合しており、接着耐久性に優れています。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。
- 国土交通省告示1372号に準ずるポリマーセメントモルタルの品質基準に適合しています。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
20kg/袋	豆板補修、鉄筋腐食による欠損部の断面修復、水切りの欠け部分、モルタルの欠け部分の補修、壁・床面の補修 コンクリートかぶり厚さ確保のための補修	コンクリート、モルタル、PC板	仕上塗材、陶磁器質タイル、防水材、塗床等	清水 約3.5ℓ	(断面修復) 5～60mm (面施工) 5～10mm	約0.4m <sup>2</sup> (30mm厚)

上記標準仕様以外の施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

### 性能

#### ●断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

試験項目	試験結果	品質基準
単位容積質量(kg/ℓ)	2.01	—
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7.3	6.0 以上
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢1日	—
	材齢28日	20.0 以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準時	1.9
	温冷繰り返し後	1.6
吸水量(g)	19.1	20.0 以下
透水量(mℓ/hr)	0.02	0.5 以下
長さ変化(%)	0.06	0.15 以下

#### ●かぶり厚さ確保のための補修材料・工法選定マニュアル(案)

試験項目	試験結果	品質基準
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	60	20 以上
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7	6 以上
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	2	1 以上
接着耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	2	1 以上
発熱性	不燃材料の要件を満たす	不燃材料の要件を満たすこと <sup>※1</sup>
耐火試験	損傷状態 I <sup>※2</sup>	状態Iもしくは状態IIまたはIIIかつ遮熱性がある

※1：加熱開始後 20 分間の総発熱量が 8MJ/m<sup>2</sup> を超えないこと、最大発熱速度が 10 秒以上継続して 200KW/m<sup>2</sup> を超えないことおよび防火上有害な試験体裏面に達する亀裂、貫通孔を生じないこと。

※2：ひび割れは発生するが剥落・爆裂がない状態。

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃をまたは高圧水洗浄をおこなってください。  
また、鉄筋が露出して発錆している場合は、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙等で錆を除去してください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
\*ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。  
\*鉄筋が露出している場合は、NSメンテペーストを刷毛で塗布してください。

## 練混ぜ

NSドカモルハード20kgに対し、水約3.5ℓを加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。  
\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内を目安に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。  
\*塗厚60mmを超える場合には、数回に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3日以上、冬季7日以上を目安としてください。  
\*壁で深さ25mm以上かつ0.3㎡以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン・ステンレス線を併用してください。  
\*面施工で塗厚10mmを超える場合には、工程間隔をとって塗り付けてください。その際の工程間隔は上記と同様としてください。

## 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。  
\*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。  
\*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。  
\*仕上材の素地ごしらえ等の次工程までの養生は、夏季3日以上、冬季7日以上おこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0309081
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



### 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。